

主な環境指標の実績および将来目標

*各データの詳細については、<http://www.tepco.co.jp/eco/report/index-j.html> をご覧下さい。

■2006年度のCO₂排出原単位は、前年度に比べて8%低減し、0.339kg-CO₂/kWh

2006年度は前年度に比べて、販売電力量がわずかに減少(▲0.4%)したことに加え、原子力設備利用率が大幅に上昇(66.4%→74.2%)したことなどにより、CO₂排出量は9,760万トンと、約850万トン(約8%)減少いたしました。また、CO₂排出原単位(販売電力量1kWhあたりのCO₂排出量)も約8%減少し、0.339kg-CO₂/kWhとなりました(1990年度に比べて約11%減少)。

		実績(年度)			将来目標 2008～2012年度 (5年間平均)
		1990年度	2005年度	2006年度	
CO ₂ 排出原単位	(kg-CO ₂ /販売kWh)	0.380	0.368	0.339 (▲8%)	1990年度比20%削減 ^(*)
CO ₂ 排出量	(万t-CO ₂)	8,360	10,610	9,760 (▲8%)	—
販売電力量	(億kWh)	2,199	2,887	2,876 (▲0.4%)	—
原子力設備利用率	(%)	71.3	66.4	74.2	—

(*) 排出原単位に換算すると0.304kg-CO₂/販売kWh程度となります。

(注1): () 内の数値は前年度比

(注2): CO₂排出原単位は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」上の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に基づいて計算しています。

■2006年度のSO_x、NO_xの排出原単位は、前年度よりさらに低減し、それぞれ0.05g/kWh、0.08g/kWh

2006年度のSO_x、NO_xの排出原単位は、前年度よりさらに低減し、引き続き世界最高水準のクリーンレベルを維持しております。

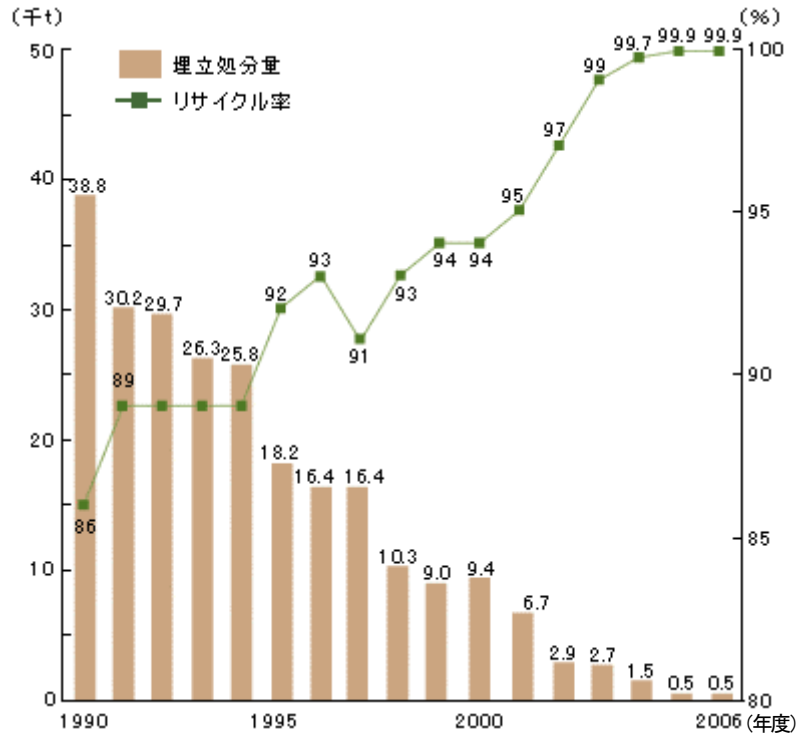
		実績(年度)			将来目標 2016年度
		1990年度	2005年度	2006年度	
SO _x 排出原単位	(g/kWh)	0.17	0.08	0.05	0.1以下
NO _x 排出原単位	(g/kWh)	0.22	0.10	0.08	0.1以下

■2006年度の産業廃棄物のリサイクル率は、ほぼ100%

2005年度に引き続き、産業廃棄物リサイクル率100%をほぼ達成することができました。

また、「2010年度までにグループ会社の産業廃棄物のリサイクル率100%を目指す」という目標を設定し、グループ会社にまで取り組みを拡大しております。

産業廃棄物リサイクル率・埋立処分量の推移



$$\text{リサイクル率(\%)} = \frac{\text{リサイクル量(有価物量および自社内再利用物量を含む)}}{\text{産業廃棄物など発生量}} \times 100$$

発生量＝有価物量＋自社内再利用物量＋産業廃棄物量
 (放射性廃棄物については原子力関連法令により取り扱いが規定されているため、産業廃棄物発生量には含まれていない)

以上